



こんにちは 加藤ひろし です

第51号



私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

<らしゃ区政のご相談
お気軽にお電話ください
3551-6820 (事務所)
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

「防災」と「福祉」最優先の中央区政に

5月27日〜30日の日程で開催した区議会臨時会で、今期の委員会構成が決まりました。

福祉保健と防災の委員に

私(加藤博司)は、常任委員会は「福祉保健委員会」に、特別委員会は「防災等安全対策」の委員になりました。今期1年間、それぞれの委員会を中心に議会活動を行います。

負担増を止めさせ、福祉の充実を

今、中央区では、安倍内閣がすすめる福祉の切り捨てにより、年金などの支給額が減らされる一方で、毎年国民健康保険料の値上げや、改定のたびに値上げが繰り返される介護保険料や「後期高齢者医療保険制度」保険料の負担増によって、区民生活は厳しさを増してきています。

また、巨大再開発などにより急激な人口増加で、区内の「認可保育所の待機児」は5月末現在で378人、とりわけ1歳児までの待機児が291人と深刻な事態です。待機児解消は緊急の課題となっています。さらに高齢者の増加により介護施設の不足も深刻です。

防災対策の強化を

災害から命を守るためには、耐震化、乱開発の防止、都市開発などの面でも行政の

役割が重要です。同時に、普段から医療、介護、福祉、子育て支援の強い基盤とネットワークを持った自治体であってこそ、災害時にも力を発揮することが出来ると考えます。私は、区民が安心して暮らせる「防災」と「福祉」を最優先にした中央区政にしたい。ため力を尽くします。これからもご支援・ご協力をお願いします。

日本共産党区議団の
常任・特別委員会委員

●常任委員会名 (委員数)

☆企画総務委員会 (8人) ○志村孝美

☆区民文教委員会 (7人) 小栗智恵子

☆福祉保健委員会 (7人) 加藤博司

☆環境建設委員会 (7人) 奥村暁子

●特別委員会名 (委員数)

☆築地市場等街づくり対策 (8人) 志村孝美

☆地域活性化対策 (7人) ◎小栗智恵子

☆少子高齢化対策 (7人) ○奥村暁子

☆防災等安全対策 (7人) 加藤博司

☆東京オリンピック・パラリンピック対策 (7人)

志村孝美

◎は委員長、○は副委員長

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党区議団ニュース

2014年6月上旬号 中央区築地1-1-1
電話3546-5563, FAX3546-9570

豊洲新市場建設工事における「談合疑惑」が、指摘されていましたが、詳しい内容が「しんぶん赤旗」日刊紙に掲載されました。

4月17日（上）、18日（中）、20日（下）の3回に分けての連載でした。今号では、「下」を紹介します。



全国市民オンブズマン連絡会幹事 大川隆司弁護士に聞く

東京都が進めている豊洲新市場（江東区）の建設工事入札をめぐる、さまざまな問題が浮上しています。公共事業問題に詳しい、全国市民オンブズマン連絡会幹事の大川隆司弁護士（談合問題担当）に聞きました。

疑惑の入札 豊洲新市場 計画

下

— 豊洲新市場の工事入札の手法・結果をどう見ていますか。

通常の一般競争入札では、同時期に複数の工事入札が行われる場合には、それぞれが複数の工事に入札するというのが普通です。

新市場建設工事で不思議に思うのは、3件の工事を受注した清水、大成、鹿島の3グループのJV（建設共同企業体）は、いずれも能力があるのに、それぞれ1件しか応札しなかったことです。

これは業者間で事前に調整がついていたのではないかと考えざるを得ません。

都の予定価格 徹底的検証を

— 1回目の入札が不

ゼネコン応札 各1件だけ 業者間で事前調整か

調に終わり、2回目には、都は予定価格を大幅に引き上げましたが…。大手ゼネコンは人件費や資材費が高騰しているといっているようですが、予定価格を6割も増加したことは疑問です。

急ぐべき工事とは思えないし、短期間に予定価格が大幅に上がるといふのなら、都は発注を見合わせるべきでした。

都は再入札の予定価格をはじき出す際に、ゼネコンなどからヒアリングしたとしています。再入札で、工期が切られているし時間が不利から、入札予定業者から相場を聞いて予定価格を上乗せするなんて邪道だし、本末転倒です。

都の積算の根拠がどれだけ客観的な資料に基づいているのか、あるいは受注者の申し出にひきず

られてはいないのかを、徹底的に点検・検証し、都民に明らかにすべきです。

競争ないから 高い落札率に

— 3件とも落札率（予定価格に対する落札額の比率）が99%を超える異常な結果となりましたが…。

競争が成立していないからこそ、これだけ高い落札率になったのでしょう。入札参加が1JVずつだけならば競争入札とはいえず、随意契約と同じです。

「官製談合ではないか」といわれても仕方がないでしょう。都が入札をやり直すという、強い対応を取らなかったのは、大きな問題です。

（おわり）

「しんぶん赤旗」2014年4月20日号より